

べつかい 議会だより



64

ヨーイ・ドン 社会に飛ばたく第一歩（リレーの練習にはげむ白鳥の子どもたち）

特集

「議会報告会」での2
ご意見・質問

平成23年度各会計決算を認定しました.....12

町政のここが聞きたい.....13
一般質問（瀧川・中村・木嶋の3議員）

シリーズ 志を受け継ぐ 別海スケート少年団白鳥 ふくはらよしひと 福原義人さん...20



2013.2.1
北海道別海町議会

開催しました

11月7日（上春別会場・西春別会場）
 11月8日（上風連会場）
 11月12日（別海会場・尾岱沼会場）

議会関係

1 議員定数

質問（上春別）

議員定数については、町民の大勢が削減を望んでいるようだが、議員の数を減らすと地域の意見などが反映されなくなると思う。私は、当町の広さから考えると増員してほしいと考えている。

質問（西春別）

私的な考えだが、当町の議員定数を減らしていくべきだ。

情報の共有と町民参加を図るため、また議会に対する町民の意見や町政に対する提言などを聞く場として、議会報告会が開催されました。
 本年度は町内五会場で開催し、町民の参加者は全体で百二十四名でした。
 各会場で出された提言・質問・回答などを項目別に要約して掲載します。

質問（上風連）

議員定数は十八人必要なのか。十六人ではないのか。やはり選挙をするべきである。

質問（別海）

今回の議会報告会までに、今まで出された意見などの中で検討となった事項について結果を報告してほしい。議員定数は、人口割を考慮して進めてほしい。

質問（尾岱沼）

議員定数について、前回の選挙では無投票だったので、議員が多

答え

という感じになるが、議員定数削減だけがいけないことなのか。立候補できないという雰囲気はなくし、選挙に出やすい雰囲気を作ることが大事だ。議員報酬を増やすことも考えたらどうか。

平成十九年に二十二人から十八名に定数の削減を行いました。今後については、年度内に定数などの検討に関する特別委員会を設置し、町民の皆様のご意見を参考に、今後一年かけて検討していきます。

2 議会報告会

質問（別海）

議会報告会の開催時間はどのように決めているのか。二年続けて別海は昼、尾岱沼は夜の開催となっているが。

答え

第一回の議会報告会では、別海と尾岱沼両会場とも夜に開催しました。

別海は、アンケートで昼の開催の要望があり、変更しました。尾岱沼は、漁業の街であり、昼は人が集まりにくいと判断し夜の開催としました。しかし、要望があれば今後時間の変更について検討します。

■平成24年度の議会報告会の参加者状況

| | 上春別 | 西春別 | 上風連 | 別海 | 尾岱沼 | 全体 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 参加人数 | 18名 | 22名 | 53名 | 24名 | 7名 | 124名 |



大勢の町民の参加をいただいた議会報告会（上風連会場）寄せられた意見を町政と議会活性化に反映させていきたい

3 議会運営

提言（別海）

議会は、町の予算執行のほか、施策についてもチェック機能を十分発揮してほしい。

4 ボランティア活動の視察

提言（別海）

私たちは、旧消防署跡をボランティアで使っている。火・金曜日開放しているの、ぜひ見てもらいたい。

特集

平成24年度 議会報告会を

総務部関係

1 防災関係

質問 (西春別・別海)

災害時における、児童・生徒の避難方法(学校に留まるか、自宅に帰すかなど)や、内陸の避難施設の整備(食料・飲料水・暖房など)の状況は。

答え

現状は、海岸線を重点に整備しています。今後、内陸の避難施設の整備状況、避難対応について検証します。

質問 (尾岱沼)

床丹(茨散地区)は、悪天候時、波が消波ブロックを越え、民家に被害をもたらす危険な状況だ。早急に対応するよう要望する。

答え

行政と早急に協議していきたいと思えます。

2 指定管理者制度

質問 (別海・上風連)

新たに指定された施設と目的は。

答え

新たに指定された施設は、バイオガストラント、町営育成牧場と各地域会館です。指定管理は、国の行政改革のもと、民間活力の導入で利用サービスの向上を図ることを目的としています。

3 太陽光発電

質問 (西春別・別海)

太陽光発電の設置状況(誘致を含む)および公的施設への設置状況を聞かせてほしい。

答え

太陽光発電を設置する際には助成金を出し普及に努めています。公的施設については、改築予定の中春別中学

校で教材と兼ねて設置を検討しています。さらに、発電事業者よりメガソーラー設置の話があり、別海市街の遊休町有地に設置される予定です。なお、町有地は賃貸です。

4 庁舎の電光掲示板

質問 (別海)

役場庁舎の電光掲示板設置の経緯、費用はどうなっているのか。

答え

北方領土問題対策協会主体の事業で設置し、主に北方領土返還PRを掲示しています。設置費用は千九百四十二万五千円ですが、町の負担はありません。

5 まちづくり

質問 (別海・上風連)

魅力のある町にするためのまちづくりに取り組む考えを聞かせてほしい。

わが町に移住を希望している人への対策は。

答え

検討課題として受けとめます。

6 米軍の受け入れ

質問 (別海)

米軍の受け入れについての考えは。

答え

町としては沖縄の負担軽減のためと考えています。議会としても

同じ考え方で受け止めています。

7 その他

質問 (西春別)

町内の葬儀が、隣町に流れている状況にある。当町にも葬儀場を確保する必要があるのではないか。

答え

当町では、市街地はお寺、地域は会館を中心に葬儀を出しているため、町民にとって不便はないと思えます。しかし、指摘のとおり、地域経済的には町外への流出は良いことではないと思えます。



役場庁舎に設置された電光掲示板(現在は節電のため使用停止中)

質問 (上風連)
本別海地区の駐在所がなくなると聞いていますが、現状の体制を維持してほしい。

答え
対応について町側と協議します。

質問 (尾岱沼)
道の駅の望遠鏡について、窓枠が視界の正面に入るところがあるので改善してほしい。道の駅トイレで流れている「別海讃歌」を販売している場所は。



北方領土を間近にみる道の駅「おだいとう」

答え

望遠鏡については、事実確認の上、対応するよう担当に伝えます。「別海讃歌」については、役場の総合政策課が窓口となっています。現在、販売用のCDの在庫はありませんが、ホームページからダウンロードが可能です。希望者にはCDの配布もしています。

質問 (尾岱沼)

町で配布している「今年のごと」の中に、

合計額が合わない事業が載っていた。十分に精査して配付願いたい。

答え
担当に伝えます。

教育委員会関係

1 スクールバス路線

質問 (西春別)
スクールバス待合室の状況と路線変更について説明してほしい。

答え

老朽化が進んで利用不能な待合室の撤去について、素早く適切に対処するよう委員会としても求めました。また、現在二十二台のバスで運行しており、今後、路線についても調査・検討します。

2 簡易プール

質問 (西春別)
各地区で利用されて

いる簡易プールを、今後も継続して利用できるようにしてほしい。

答え

継続して利用していただきますが、今後大きな修理などが必要になった時は、地域の皆さんと協議するという報告を受けています。

3 旧光進小中学校の利活用

質問 (西春別)

閉校以来、数年経過したが、どのような利活用を考えているか。

答え

インターネットなどを通じ全国に公募しましたが、利用の申込みがありませんでした。担当から宿泊研修施設として検討中であるとの報告を受けています。今後、具体的に利活用となると改修など経

費も発生することから、広く町民の皆さんと意見交換することも含め調査していきたいと考えています。

質問 (別海)

旧光進小中学校の建設、廃校の経緯について伺いたい。

答え

地域からの強い要望もあり、建設時のシミュレーションでは生徒の増加が見込まれましたが、酪農情勢などの急激な変化もあり、生徒数も急速に減少が進み閉校となりました。

4 教員住宅

質問 (尾岱沼)

環境、防犯の観点から、教員住宅の空家対策を進めてほしい。

答え

本件は、全町的な課



住宅環境の改善が必要になっている教員住宅

5 児童・生徒の学力

質問 (尾岱沼)

町内小・中学校の学力が低下していると聞いているが、その対策はどのようになっているか。

答え

担当に確認したうえで、調査し検討したいと思っています。

福祉部関係

1 特養ホーム

質問 (上春別)

新しくなる特養ホームは、個室になってプライバシーが守られるとの説明だが、そのことによつて定員数が減るのではないか。待機者も大勢いると聞か、多く入所できるようにならないか。

答え

現在の待機者は九十三人です。現施設の定員は九十四人ですが、新施設は百人を計画しています。個室型にしたのは、国の整備方針や補助金の交付要件、入所者とその家族のことを考えたためです。私物を持ち込めることや入所者のプライバシーが保たれることが利点とされています。新施設は、低所得者



昭和49年に建設された特養ホーム。平成26年度から社会福祉法人べつかい柏の実会へ経営移譲される

なども継続して入所が可能です。

2 配食サービス

質問 (上春別)

老人や独居宅への食事の宅配について、別海・西春別の二地区しか実施しておらず、不公平に感じる。他地区でもできないか。

答え

今後調査していきま

3 保健師の業務

質問 (上春別)

老人、乳児がいる家庭を過去には保健師さんが巡回していたが、現在していない。もっとまわってほしい。

答え

乳幼児については、保健課事業として出生後の家庭訪問、四か月児から三歳児まで定期的な健康診査および乳幼児相談などを実施し、個々の相談に応じてい

4 生活保護

質問 (上風連)

当町では生活保護の一か月の支給額はどのくらいか。

答え

平成二十三年度に当町で支給された保護費の総額は約七千六百万円で、支給世帯は百九世帯です。支給額は家族の人数などによつてそれぞれ違います。

5 保育園の危機管理

質問 (上風連)

学校が台風で臨時休校になったが保育園は

開いていた。小学生より小さな子どもがどうして行くのか。

答え

保育園と学校は役割と休園休校の判断基準が異なっています。国が定めた保育指針の中で、子どもの保育のほかに保護者に対する支援が明記されており、学校が臨時休校しても開園している場合もあります。

公園の遊具が使用できない状況になっている。早く遊具を使えるようにしてほしい。

答え

保育園や児童遊園地などの遊具を調査したところ、危険な遊具が多数あり、使用停止になっています。新設・補修を含め多額の予算が必要です。早急に対応するよう町に要望します。

6 保育園・公園の遊具

質問 (別海)



使用停止になっている児童遊園地の遊具 (西春別駅前)

7 白鳥台のトイレ

質問 (尾岱沼)

トイレの横の建物は何かとよく聞かれるが、教えてほしい。

答え

トイレ横の建物は、道の駅利用者のための防災用具を保管する倉庫です。

病院関係

1 病院の診療体制

質問 (上春別)

当町の病院で診察すると他の病院に回されることがある。また他の病院へ直接行っても紹介状がないと受け入れてくれない。

答え

別海病院は一次医療機関のため、高度医療などが必要な人には、適切な専門病院を紹介しています。また、根室や中標津の二次医療・釧路の三次医療の医療機関に受診する場合、紹介状が必要になることがあります。



冬季間の安全確保が課題となる病院進入路

を深め、別海の地域医療を守るために、中小企業家同友会が中心となって組織された。

3 薬局と進入道路

質問 (上春別)

新病院と薬局への距離が広がり不便になった。FAXを送れば病院に持ってきてくれるサービスはできないか。道路のロードヒーティングはしているのか。会計事務は自動化されたか。

答え

薬局については今後の状況を見て検討します。道路のロードヒーティングはしていません。会計事務は自動化されています。

4 新病院の医療設備

質問 (上風連)

新病院ができたが、手術室が二室あり、CTもあるが高度医療を求めているのでいいのではないのか。

答え

別海病院は一次医療機関の位置づけですが、お産や救急診療も扱っています。一般的な手術の他に、緊急な帝王切開や交通事故の緊急手術などにも対応することから、通常の手術室と予備の手術室があります。



新病院に導入されたCT装置、検査体制が整備された

また、CT装置は高度医療でなくとも、通常診療の中で各部位の様子を確認

答え

医師確保は病院にとっての重要な課題になっています。今は札幌医大から医師を派遣していただいています。またその他いろいろなところから来ていただいています。町では医学生に対して奨学金制度を設けて、医師の確保に努めます。

質問 (別海)

医師確保のためどのようなことをしているか。また、入院患者に対する接遇改善の必要性を感じるが。

医師やスタッフの資質向上に心がけていくよう要望していきます。

6 病院の解体

質問 (別海)

病院を解体するのはもったいないので、町民に使わせるなど有効活用できないか。

答え

備品については再活用していますが、建物については補助金の規定により解体することになっています。

2 医療機関の講演会

質問 (上春別)

釧路労災病院などでは講演会をしている。当町での開催はどうか。

答え

一年に二回、※医良同友とタイアップして医療講演をしています。また、別海病院では札幌医科大学との連携事業で、地域医療フェアも開催しています。今後、講演会を開くとき、広く周知するよう要望します。

※医良同友

医師と住民との交流

産業振興部関係

1 郊楽苑関係

質問 (上春別・西春別・上風連・別海・尾岱沼)

経費削減のため第三セクターから民間に賃貸したのに、どうしても多額の費用を借り手側に支払わなければならないのか。

当時の契約はどのようになつていたのであるのか。

答え

修繕費および源泉ポンプ電気料は、本来大家である町が負担すべきでした。

今回、四千五百二十一万円を補正計上し、(株)郊楽苑が負担していた分を支払いました。

また、契約書も見直したいとのことでした。

議会としても慎重に審査しました。郊楽苑は当町にとって重要な施設であり、今後も維持していくために、こ



将来の方向性を探るため保全調査が行われている郊楽苑

重ねてきました。

町側も弁護士と協議し、契約書の不備を認めざるを得ないということも議会に説明しました。議会として、町側に対しても町側に関する関係書類の精査などについて厳しく指摘をしております。

の補正を認めることにしました。

今後このようなことがないように附帯決議をいたしました。

質問

議会としての監視が甘いし、支払う費用は町民の税金である。そのようなことが許されるのか、責任はだれがとるのか、町民に対して説明してほしい。

答え

議会で何度も協議を

質問

単年度で四千五百万円足りなくなつたということか。

答え

単年度ではありません。平成二十一年に(株)郊楽苑と町は五年間の賃貸借契約をしました。それが、以降の三年間で、契約不備のため発生した金額です。

質問

今後もこういう金額が必要となるのか。今後ますます老朽化してくるので、もっと費用はかかると思うが。

答え

きちんと説明を受けて、必要なものについては出していきます。保全調査を行い、今後施設の保全にいくらかかるか調査します。

質問

契約は解除できない

のか。

答え

現状では残り二年間は継続するというのが町の見解です。

提言

普通なら賃貸料を取るところなのに、逆に町が手出ししなければならぬというのは考えられない。今後こういうことにならないよう、議会としても町民の声を受け止めて厳しく見てほしい。

提言

郊楽苑の契約はあまりにもおそまつだ。顧問弁護士もいるのではないか。チェックはなかったのか。こんな行方は普通考えられない。

2 エゾシカ対策

質問 (上春別・別海)

エゾシカ対策の効果は出ているのか。

また、狩猟後に解体された残渣などが牧草地に放棄され、農機具の破損もあつたと聞いている。

答え

抜本的な対策が必要だと認識しています。また、解体処理後の残渣などについては、不法投棄がないよう指導・監視体制の強化を図っていきます。



災害といっても過言ではないエゾシカ被害、早急な対策が望まれる

3 ふん尿流出事故

質問

(西春別・上風連・上春別)

ふん尿流出事故の対策に農協・役場が一生懸命努力をしているが、農家もなかなか思うようにできないのが実体だ。

当町の基幹産業である漁業のためにも二度とあつてはならない。

答え

議会・農協・役場などの協議をしながら対策を検討しています。特に酪農家の皆さんには十分気をつけていただき、全町あげて取り組んでいきます。

質問

ふん尿処理は、個人の草地への還元だけでなく、地域全体で戦略的に考えるべきだ。スラリーの有効利用が大切ではないか。

答え

漁業者の人達とも話し合いを持ち、地域の問題として進めていくことが大切です。農協・普及所と連携をとりながら検討していきます。

提言 (上春別)

家畜ふん尿は有機肥料だ。スラリータンクの設置について、増頭を考えた施設の設置を国に求めたが認めてもらえなかった。増頭分の余剰分を生で散布することになる。それで



下部にバンドをまいて耐震強化を施したスラリーストア

牛が体調を悪くして、余計に経費がかかる。

4 農業政策等

(1) 農業の将来展望

質問 (上春別)

町は足腰の強い酪農にするためには、どのように取り組んでいくのか話を聞きたい。

答え

一次産業は当町にとって大切な部分なので、皆さんの意見を町側へ提言し、足腰の強い酪

農にしていきたい。農協との連携については議会として協議していきます。

(2) 国営かんがい排水事業

質問 (上春別)

個人負担は5%であるが、毎月の経費(電気料など)が相当かかると聞いている。果たして良質な有機肥料となり、良い牧草の収穫ができて経営が成り立っているのか疑問に思う。

機械などの入れ替えもあり、相当なコストがかかるのではないか。施設は個人のものなのか。取得税・固定資産税はどのようになっているのか聞きたい。

答え

大変なお金をつかった事業ですが、家畜排せつ物また雑排水の問題を解決できる施設と想っています。施工や管理のやり方について

は、行政・農協・農家などと協議をしながら実のあるものにしていきたいと思っています。施設は町の所有のため取得税・固定資産税はかかりません。

(3) 臭気対策

質問 (西春別)

臭気対策について、別海全域にスラリー臭があり、当町を訪れる観光客はどのように思っているか。また、家畜

排せつ物処理法が施行されて十年以上になるが、一向に対策がとられていない。どうなっているのか。

答え

臭気対策は緊急の課題として、中山間事業などで取り組んでいますが、なかなか成果が上がらない状況です。町では今後も継続して取り組みを進めるとの説明を受けています。



環境保全型酪農の推進が求められているその対策の一つとして期待されているかんがい排水事業



漁協との懇談会では秋サケの不漁対策と河川環境保全に話題が集中

5 その他

(1) 研修牧場

質問 (上春別)

研修牧場、育成牧場の運営および将来の方向性についてどのような方向性を考えているのか。

答え

育成牧場は、農協合併などに伴い利用減となっております。現在は赤字にならない程度の経営となっていることから、将来展望を検討していく必要があると考えています。

答え

乳業興社は、設立当時は赤字でしたが、各種製品を開発し、道内外および海外にも販路の拡大を模索するなど、ここ数年間は黒字経営となっております。

2 除雪体制

質問 (尾岱沼)

一般用が減少傾向にあり、販路拡大のためには、原料の生乳の確保が必要ことから、研修牧場の飼養頭数増が検討されています。施設・設備の老朽化に伴う課題など検討が必要です。

答え

道道については、道の管轄になっていきます。町道であれば、担当に伝えます。

地区の道路は舗装され大変良くなっているが、道路に段差があるので、直してほしい。

提言 (別海)

道路のガードロープなどは頑丈に作ってかえって事故が大きくなっている。なぜそれだけ頑丈にしなければならぬのか。税金の使い方を考えてもらいたい。

建設水道部関係

1 除雪による砂利の被害

質問 (西春別)

冬の除雪時に畑に砂利を押し流れて大変なことがあったので、対応をしっかりとしてほしい。

答え

四号道路については、町道と道道の区間があるので、極力雪がたまらないように、担当と十分協議するよう伝えます。

答え

担当部署に伝え、草地に石が入らないよう

3 その他

質問 (上風連)



冬の安全を確保する除雪作業

(4) TPP問題

質問 (別海)

TPPPのメリット、デメリットについて具体的に説明してほしい。

答え

当町にとってメリットとなるものはなく、道や町でも試算した影響額を示していますが、農産物・水産物の輸入が多くなり、倒産する会社も出てくるなどの影響が予想されています。

(5) 経済団体との意見交換

質問 (西春別)

農協と行政との意見交換をしているか。

答え

今年度は十月十七日に野付・別海両漁協と意見交換を行いました。今後、十一月九日にJA道東あさひの役員との話し合いを予定しています。

(2) 乳業興社

質問 (上春別)

乳業興社の今後の運営方針などについてどのように考えているのか。

12月 定例議会

12月18日～21日開催

12月定例議会は、12月18日から4日間の会期で開かれました。審議のようすをお伝えします。

補正予算への反対意見

(瀧川榮子議員)

今回の交流センター備品の入れ替え・修理については、契約書に違反して実施されており、町は相手側に改善を求め適正に対処すべきなのに、黙認しています。備品については双方で協議すること、法的なしほりはありません。町が負担すべきものかどうか、妥当性

補正予算への賛成意見

(森本一夫議員)

各種事業の精査・確定による増減補正と、特別養護老人ホーム基本設計や秋サケ不漁対策など喫緊の課題の対応となっています。「郊楽苑」については、

が検証されないままであり、重大な問題が残っています。以上のことから、本議案に反対します。

必要な経費として協議され、検証基準を設け判断されたもので、承認すべきものと考えます。不必要な経費の支出は認められませんが、将来を見据え、「健全経営」へ取り組みがなされることを期待し、本予算案に賛成します。



不漁対策として水産加工振興の補正予算が決まりました

条例を一部 改めました

◆別海町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院から五十五歳以上の国家公務員について、民間との給与格差を是正するため、昇給を停止または圧縮するという勧告がなされたことを受け、当町において昇給を行わないとして条例の規定

平成24年度 補正予算概要

補正額

予算総額

一般会計（5回目の補正）

1640万円 増 151億6510万円

介護サービス特別会計（1回目の補正）

410万円 増 9億1390万円

■一般会計の主な補正（歳出）

- 特定防衛施設周辺整備事業調整交付金基金積立金 4124万円増額
- 協働のまちづくり推進事業（公募型補助金） 230万円減額
- 新特養ホーム・デイサービスセンター建設費補助金 504万円増額
- 社会福祉法人建設準備室運営費補助金 362万円増額
- 予防接種事業経費（検診委託料） 450万円増額
- 家畜ふん尿貯留施設整備事業（補助金4件分） 200万円増額
- 基盤整備促進事業（道路改良工事） 1075万円増額
- 漁業支援等緊急対策事業（秋サケ不漁特別対策事業補助金） 1600万円増額
- 交流センター管理経費（施設備品負担金等） 611万円増額
- 奨学資金貸付事業経費（奨学資金の確定による） 576万円減額
- 団体派遣費補助事業（各スポーツ全国大会等への出場補助） 113万円増額

■介護サービス事業特別会計の主な補正（歳入）

- 一般会計繰入金 320万円増額

■介護サービス事業特別会計の主な補正（歳出）

- 施設の暖房等燃料費（老健・特養ホーム・デイサービス） 221万円増額
- 訪問看護ステーションの臨時職員賃金 112万円増額

を改めました。

また、病院に勤務する薬剤師の給与について、民間に勤務する薬剤師との給与格差が生じている現状を踏まえ、医療技術職確保の必要性から、給料表の一部を併せて改めました。

工事請負契約の締結を承認しました

◆西春別十七号線改良舗装工事

簡易公募型指名競争入札により、寺井・高玉経常建設共同企業体が落札しました。

契約金額は、一億二百十六万五千円で、工期は、平成二十五年十月三十日までです。

国に意見書を提出しました

◆私学助成制度に係る財源措置の充実強化

に関する意見書

提出者 戸田 憲悦 議員
他三人

公教育に大きな役割を果たしている私立学校の経営基盤確保のため、都道府県が実施する財源措置の充実強化を図るよう求める意見書が提出されました。

◆消費者のための新たな訴訟制度の創設を求める意見書

提出者 瀧川 榮子 議員
他四人

消費者庁が準備している消費者の被害救済のための訴訟制度を早期に創設することを求める意見書が提出されました。

◆高齢者施策を担うシルバー人材センターに関する意見書

提出者 山田 信 議員
他四人

シルバー人材センターは、高齢者の多様な就職ニーズへの対応や、社会参加による地域の活性化を目的として、就業支援施策などを担っています。
高齢者の受け皿として重要なため、補助金の確保および活用促進への配慮を強く要望する意見書が提出されました。

◆中小企業に対する金融対策の充実を求める意見書

提出者 松壽 孝雄 議員
他五人

営農に不可欠な配合飼料の価格は高どまりとなり、生産者の負担や生産コストの増加により深刻な事態となっているため、自給飼料



配合飼料高騰で酪農経営が厳しくなっています

今年度末で期限切れとなる「中小企業金融円滑化法」の一定期間延長または失効した場合の経営の維持・安定を図るための支援策を求める意見書が提出されました。

◆配合飼料価格の高騰対策に関する意見書

提出者 杏澤 昌廣 議員
他五人

増産対策や生産基盤拡大対策の充実強化を求める意見書が提出されました。

◆わが国の領土・主権の護持等に関する意見書

提出者 総務文教常任委員会
委員長 佐藤 初雄

一連のわが国の領土・主権を脅かす行為は極めて遺憾であり、領土・主権の護持および在留邦人・企業の安全確保など、万全の措置を速やかに講ずるよう求める意見書が提出されました。

議員の辞職を許可しました

丹羽勝夫議員から辞職の申し出があり許可しました。

※六件の意見書は全員の賛成で可決しました。

平成23年度 各会計決算を審査・認定する

12月定例議会では、決算審査特別委員会（戸田憲悦委員長）の報告を受け討論・採決の結果、一般会計は賛成多数、ほか5特別会計・2公営企業会計は全会一致で認定しました。以下概要について報告します。

平成23年度各会計決算

| | 歳入(収入) | 歳出(支出) |
|-------------------------|------------|------------|
| 一般会計 | 150億7197万円 | 145億6482万円 |
| 国民健康保険特別会計 | 23億9860万円 | 23億8296万円 |
| 下水道事業特別会計 | 5億2590万円 | 5億2571万円 |
| 介護サービス事業特別会計 | 9億327万円 | 9億291万円 |
| 介護保険特別会計 | 8億6386万円 | 8億3693万円 |
| 後期高齢者医療特別会計 | 1億2364万円 | 1億2336万円 |
| 町立別海病院事業会計 [※] | 16億6076万円 | 17億813万円 |
| 水道事業会計 [※] | 7億861万円 | 4億8865万円 |

※事業会計については収益的収支の決算です。
数字は千円以下を切り捨てしてあります。

健全化の成果、一般会計五億円の黒字決算 域内循環、地域内再投資推進の事業に期待

決算委員会報告 (戸田憲悦委員長)

長引く景気の低迷と経済情勢の不透明さから厳しい財政運営を求められる町財政ですが、地道な財政改革による健全化策により一定の成果を上げています。ただ健全化に固執す

ると、地域経済の硬直化を誘発しかねません。バランスのとれた財政運営と地域内循環を促すような政策が必要となります。平成二十三年度一般会計決算をみる限り、町税の収納状況、財政指数など、一定の水準を保っており、関係職員

の努力は高く評価でき

ます。施策について、別海町独自の福祉サービスである福祉牛乳は、酪農王国ならではの事業であり、今後も継続実施が望まれます。また、エコ型住宅事業は地域経済への波及効果も大きく、地域内再投資が喚起され、経済対策としてさらなる事業展開が期待されています。今後大型施設整備や大規模な補修も計画されています。各種事業の費用対効果と財政の健全性に配慮した予算執行が望まれます。自治基本条例にもとづき、町民との情報共有に努め、第六次総合計画の確実な実施と積極的な改革を進めることを期待します。

一般会計決算に対する討論

反対意見 (中村忠士議員)

① 町民の理解と協力で解決すべき税の滞納問題を広域税滞納整理機構に丸投げしています。

② 新酪農村事業に係る不納欠損（平成九年から二十五年までの総額十三億円）に対し、責任をとる姿勢も、厳格な検証をする姿勢も見られません。

③ 国営かんがい排水事業に係る収入未済額五十八万円が発生しましたが、スラリ希釈、ばつき時間、成分分析など、総合的な実態把握ができていません。

④ 郊楽苑のポンプ取換え、薪ボイラー設置時点で町は、貸し手責任を自覚しており、この段階で契約書の検討をすべきでした。それをしなかったため今日の混乱を招いています。

賛成意見 (今西和雄議員)

昨今の地方自治体における財政は大変厳しい状況下にあると認識しています。

我が町においても、財源の七割以上を国や道に依存する厳しい財政運営を強いられています。

このような中、昨年、一昨年に引き続き百五十億円を超える歳出決算です。三十億円を超える各種事業を実施しながら、実質収支五億円の黒字を計上しています。

各分野における経費削減などの努力により実質黒字に収め、財政調整基金へ積み立てるなどは高く評価できます。また、産業振興、福祉や扶助など、必要な施策が展開されています。

町政の ここが聞きたい

12月定例議会では2日目(12月19日)に3議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。詳しい議事録はホームページに掲載します。



町の明るい雰囲気をつくる別高生
(別高祭より)

■中村忠士 議員……………15

- 1 災害時の住民避難 実際に即した計画を
- 2 介護保険制度改定の影響は
- 3 地元企業の育成と活性化を



野付半島の貴重な自然を巡るツアー
湿原の保全は一次産業も守る

■瀧川榮子 議員……………14

- 1 郊楽苑の事前承諾なしの改修は契約違反では
- 2 高校生就職のための企業援助の検討は



AEDの操作方法を熱心に聞く防災
訓練の参加者

■木嶋悦寛 議員……………16

- 1 ラムサール条約登録湿地の観光誘致は
- 2 ホームページのフェイスブック化を
- 3 フロードバンド不通地域の解消を考えては

詳しくはホームページをご覧ください

別海町議会

検索

瀧川榮子議員



瀧川議員 郊楽苑の事前承諾なしの改修は契約違反では

町長 契約の不備を改善し
正常な形にしていきます

と同時に領収書を確認し、支出しました。

質問

保守点検費用の減額理由は何かですか。

大槻商工観光課長

九月補正段階では、不確定要素がありましてので、概算で予算計上しました。

質問

カーペット、クロス
の張り替えなど改修・補修は、事前に町の承諾を得ていますか。

大槻商工観光課長

カーペット、クロス、屋根の補修などは事前に報告が来ました。電気設備などの改修は改修報告書として受けました。

質問

契約書第十条には使用上の変更には、事前に町の承諾を得なければ

ばならないとしています。契約違反ではありませんか。

水沼町長

貸し手責任について契約書自体に不備がありました。今後、正常な形にしていきます。

質問

契約内容が履行されていないことに問題があると考えますが。

水沼町長

町と郊楽苑側で精査できていませんでした。

質問

地域活性化のため、改修工事など、町内業者を利用するのが基本だと考えます。

水沼町長

今後、町内業者の利便をお願います。

質問

七月より電気代が大幅に上がっています。理由は何かですか。

大槻商工観光課長

源泉ポンプ動力部分で五万円です。はつきりした原因は不明です。

質問

六百万円余の備品入替えについては、事前に町の承諾を得ていますか。

大槻商工観光課長

承諾を受けて行ったものではありませぬ。

質問

契約内容を双方履行せず、不備があります。よしとして支出決定しましたか。

大槻商工観光課長

双方で不備があったと考えていますが、継続的に郊楽苑を運営するため措置しました。

質問

契約満了は平成二十六年三月三十一日です。二か月前までに契約解消を申し入れ、公募

水沼町長

新たに公募の必要があるのではないかと考えています。

瀧川議員 高校生就職のための企業援助の検討は

産業振興部長 検討会議で検討します

質問

人材育成に時間がかかります。

有田産業振興部長

人材育成を含め、別海町中小企業振興検討会議で検討します。



人材育成のための支援が求められている地場で働きたいと思う高校生は多い(写真は別高祭)

中村議員 災害時の住民避難 実際に即した計画を

総務部長 提案を受けさらに

検討を進めます

質問

地域に数か所の避難場所があります。実際に災害が起きたとき、どこに避難すべきか、住民はとっさの判断をしなければなりません。そうしたことを前提にした防災訓練を、自主防災組織などと連携しながらやっていく必要があるのでは。

竹中総務部長

防災訓練では、自主防災組織などとの打ち合わせを行い、避難所



中村忠士議員

を確認したうえで実施しています。

災害発生時に個々の住民がどこにいるかは想定できません。最寄りの避難所に避難してもらうことが被害の軽減につながります。スムーズな避難がなされるよう、今後とも避難場所の広報活動などについて検討していきます。

質問

災害時、各施設の管理や避難者の掌握などについて誰が指揮をとるか、避難者の名簿作成はどうするか、町対策本部との連絡体制はどうするのかなど、具体的なシミュレーションはされていますか。

竹中総務部長

大規模災害時にはすべての避難施設に町職員などを配置することは困難です。自主防災組織などの協力を得て管理運営方法を検討します。

避難者名簿作成に関しては、避難者自身による記入方法が基本になります。また、各避難所の電話について、災害時優先電話の指定を受けています。

介護保険制度 改定の影響は

中村議員

福祉部長 多少ありますが、ほとんど影響は出ていません

今後、防災訓練の実施などに合わせて、一連の流れが確認できるよう、訓練計画などを策定していきます。



防災訓練で消火のやり方を学ぶ住民

質問

今年四月から生活援助の時間短縮、報酬改定が行われたことにより全国的に様々な問題が出ています。当町ではどのような影響が出ていますか。

佐藤福祉部長

特に不安、不満は出ていないと聞いています。ただ、サービス時間が減っているので、

一部に家族の負担が増えた部分があります。

質問

介護施設の経営は大変です。実態の把握、支援について町の考えをお聞かせください。

中村議員 地元企業の育成と活性化を

町長 地域循環型経済構築に向け

検討していきます

質問

地元企業の育成と活性化のため、①エコ住宅助成を「住宅リフォーム」の助成まで拡大。

②再生可能エネルギー活用を地元企業とともに進めるための補助制度。③大型施設建設や農業関連の工事にも地元企業が幅広く参加できる体制づくり。

以上の三つを提案しますが、町の見解をお聞きします。

水沼町長

問題などを把握し、事業がスムーズに展開できるように、相談などの対応に努めてきました。

さらに安心して相談できる体制づくりを考えていきます。

水沼町長

リフォーム制度について来年度予算に向け検討していきます。

太陽光発電について町として支援をしています。今後も出来る限り支援していきます。

大型事業に地元業者が参入できるように努力していますが、地域循環型経済の構築に向けさらに検討します。

木嶋悦寛 議員



ラムサール条約 登録湿地の観光誘致は

木嶋議員

町長 ネイチャーセンターを拠点に
事業展開しています

質問 条約では湿地の保全や賢明な利用のために、人々の交流や情報交換、教育、参加、啓発活動を進めることも決議されていますが、当町での

取り組みは。

有田産業振興部長

湿地の環境保全活動の推進と住民意識の啓蒙を図ることを目的として実施した事業に対して、平成十八年度から環境保全啓蒙活動交付金を交付しています。

質問

登録湿地を有する自治体間での情報交換の方法と町民への情報開示の手段は。

有田産業振興部長

全国五十三个市町村で構成するラムサール条約登録湿地関係市町村会議と、登録湿地にかかわる自然系施設など十七団体で構成する北海道ラムサールネットワークがあり、学習会や情報交換を行っています。ホームページがあります。ホームページがあるので、今後、町のホームページとリンクさせていきます。

質問

エコリズムとの融合によって、別海町全体の観光と産業を見直す機会になるのでは。

町長

町全体でさまざまな

木嶋議員

ホームページの フェイスブック化を

町長 現在取り組む考えは

ありません

質問

まちづくりに必要な情報を行政・議会・町民が、情報共有することに関して、現状では積極的とは言えません。このことを解決するために、ホームページをフェイスブック化して成果を上げている自治体があります。当町でも協働のまちづくりのさらなる推進に向けて検討すべきです。二十代から四十代の

資源を観光に結びつけていくことが地域の活性化につながります。近隣市町村との連携と町民の皆さんの協力により、今後も取り組んでいきます。

責任の持てるものでなければなりません。担当職員の権限でどこまで答えられるか、対応できるか、かなり難しい面もあります。

検討もしましたが、現在取り組む考えはありません。



佐賀県武雄市では市のHPを全面的にフェイスブックに移行し情報共有の成果を上げている

木嶋議員

フロードバンド 不通地域の解消を考えては

総務部長

対象世帯の
ニーズに応じ対応したい

現在全町で六千三百六十三世帯のうち、四千六百十七世帯がNTTなどの民間事業者による高速通信サービスを受ける世帯で、千五百四十六世帯が別海町長距離高速無線LAN事業の対象世帯となっています。残りの二百世帯がどのサービスも未到達の世帯となっており、町内の情報格差解消のため、早期に問題解決のため努力する旨の答弁がありました。

「議会だより」に一言 (モニターのご意見)

前号に引き続き、議会だよりモニターのご意見を掲載します。今回は西春別地区の羽石義男さんにお話をお伺いしました。



議会モニターの羽石義男さん
(西春別駅前)

七時半からということも検討してみてもいいです。

質問 議会や町政に
対してのご意見は。

羽石 議会について
は、傍聴に行きたいと
思うのですが、実際は
なかなか行けないとい
うのが実態です。議会
日程が事前に分かれば
と思います。多くの町
民に議会日程が事前に
伝わるよう工夫してい
ただければと思います。
職員の変動について
ですが、担当が変わる
と話が通じなくなるこ
とがあります。引き継
ぎをしっかりやってほ
しいと思います。部署
の半数近くが変わるこ
ともあり、大変困りま
す。計画的な異動をお
願ひします。

質問 十一月に「議
会報告会」を行います
たがこれについて一言。

羽石 大変良いこと
だと思えます。何より、
町民の生の意見が出ま
す。また議会の考えも
よくわかります。

西春別地区では午後
七時からやりましたが、
農家のことを考えると

率直なご意見、あり
がとうございました。
いただいたご意見は
ぜひ今後に生かしてい
きたいと思ひます。



中標津町の森林公園について説明を聞く参加者

公園の役割を学ぶ 林活議連研修会

(10月19日 中標津町)

十月十九日、中標津
町役場で根室地方林業
林産業活性化推進議員
連盟協議会の研修があ
り、エゾシカ対策につ
いて、中標津町農林課
林務係・田中係長から
講義を受けました。

毎年十二月から翌年
四月まで囲いわなを設
置してシカを捕獲し、
食肉用として有効利用

していません。事業は五
年間を予定し、さらに
対策を検討していくと
の説明を受けました。

講義のあと、中標津
町建設水道部管理維持
係・山本係長の案内で
森林公園を視察しまし
た。

公園面積五十七haに
四か所の森を整備、桜
も大きく育ち、花の見

の概要について、教育
委員会生涯学習課・南
課長から説明を受けま
した。

平成二十年五月の北
海道植樹祭で、チシマ
ザクラ、カツラなど二
十四種二千本余が植え
られました。現在立派
に根づいており、今後
の成長が楽しみです。

また公園内には、ス
ピードスケート・アイ
スホッケー場、天然芝
のサッカー場、ラグビー
場、ソフトボール場な
どがあり、どれも素晴
らしい施設でした。

年間四万人以上の人
が利用しています。
町民がスポーツを通
して健康で明るい毎日
を過ごすためにこの運
動公園が有効に利用さ
れていると思ひました。

(松壽孝雄議員)

町内外から多
くの方々が訪
れています。
町民有志の
方が下草刈り
などの奉仕活
動を行ってお
り、素晴らし
い公園でした。
次に運動公
園を田中係長
の案内で現地
視察。
また、公園

質問 モニターになっ
ていただき、ありがた
うございます。議会だ
よりをお読みになって
のご感想・ご意見はど
うでしょうか。

羽石 文字が大きく
て大変読みやすいです。
また写真も多くて良い
と思ひます。

議会だよりにふん尿
問題が掲載されました
が、継続して取材して
ほしいと思ひます。

総務文教・福祉医療・産業建設の3常任委員会の6月定例議会終了後の活動について概要をお知らせします。

総務文教 常任委員会

委員長 佐藤初雄
委員 安田輝男
委員 戸田憲悦
委員 今西和雄
委員 森本一夫

起債・町税収納の状況

平成二十三年度での起債残高は二百三十六億円で、実質公債費比率は一四％です。今後も適切な財政運営が必要です。

国保税・普通税の収納状況は、前年比減であるため、公正・公平な負担と収納向上を求めました。

防災体制の状況

第六次総合計画で、学校の耐震化百％を目標に取り組むとともに天井・壁など非構造物の点検を実施予定です。地域防災センターの構造設計の検証の他、避難経路、海拔表示板の設置や避難所の備蓄品などの整備を求めま

した。海拔〇メートルに近い野付半島の避難施設の早期設置と避難訓練の実施、自主防災組織の充実・強化の必要性を確認しました。

町文化財の現況

町や民間で管理している文化財を現地調査し、積極的な保護が必要と確認しました。

閉校後の校舎利用状況

旧美原小学校は、永久保存が必要な書籍の収蔵庫として活用しています。また旧豊原小学校は、郷土資料館の収蔵庫として、農機具などの開拓資料を収納展示しています。

旧光進小中学校は、宿泊体験施設としての活用を検討中です。

小中学校適正配置計画の状況

本年度実施したアンケート調査から教育委員会の考え方を事務調査しました。地域全体で、子ども

達のためどうか慎重に議論することが必要で、教育環境向上に向け、継続調査していきます。

福祉医療 常任委員会

委員長 松原政勝
副委員長 西原浩
委員 渡邊政吉
委員 山田信
委員 瀧川榮子
委員 木嶋悦寛

特別養護老人ホーム

町職員から社会福祉法人・べつかい柏の実会へ移行を希望する職員は、現在四十名（正職一・嘱託二十七・パート十二）です。

平成二十六年度からの経営移譲に伴い不足する職員については、採用方法などを含め法人と協議していくこと

廃棄物処理の現状

当町のごみ収集は、委託収集、許可業者収集、直接搬入と三分に分かれています。

平成十八年から二十四年までの七年のうち、十八年は爆弾低気圧による災害、こみ、二十二・三年は住宅火災が発生

になります。

し、火災がれきが処分されました。二十四年は漁港の浚渫が行われ、汚泥が最終処分場に埋め立てられました。このように、災害・火災などが発生した場合、その年度の廃棄物の処理量は多くなります。

一般廃棄物の可燃ごみは、分別を正しく行うことが大切で、鉄類が混入すると破砕施設に損傷を与えます。漁港から浚渫される汚泥については今後の堆積も含めて道と町で協議中です。



旧豊原小学校を視察する総務文教常任委員

地域包括支援センター

地域包括支援センターは、高齢者が地域でその人らしく暮らすことができるよう、さまざまな支援や仕組みづくりをする役割を担っています。

事業としては、①入院(入所)・退院(退所)時の連携やケアマネージャーの後方支援②健



町のごみ最終処分場を視察する福祉医療常任委員

康教室などの介護予防③要支援一・二の認定を受けた方への予防ケアプランの作成④虚弱な方の介護予防サービプランの作成⑤高齢者に関するさまざまな相談を受けて介護保険などあらゆる支援へつなげる⑥消費者被害の防止や対応などの支援事業を行っています。

産業建設
常任委員会

河川環境保全の取り組み

三月末の家畜ふん尿河川流入事故以降も、この問題を重要課題として、調査活動などを継続してきました。

ふん尿施設整備を助成するための予算措置、町・農協などの連携したパトロール活動などが実施されてきました。十一月に牛舎雑排水の流出、十二月の凍結時でのスラリー散布など問題となる事例が起っており、抜本的解決に向けての取り組みをさらに強めていかねければならないと考えています。

生産団体などの懇談

十月から十一月にか

| | |
|------|------|
| 委員長 | 小林敏之 |
| 副委員長 | 杏澤昌廣 |
| 委員 | 中村忠士 |
| 委員 | 戸田博義 |
| 委員 | 安部政博 |
| 委員 | 松壽孝雄 |

け、漁協・農協・中小企業家同友会との意見交換・懇談を行いました。

漁協との懇談では、特に秋サケの不漁対策が問題となり、その関連で河川環境保全のとりくみが重要であることが確認されました。農協との懇談では、飼料高騰に対応する施策、T P P (環

太平洋経済連携協定)の影響などについて協議しました。また、家畜ふん尿管理についても意見交換をしました。中小企業家同友会との懇談では、町の「中小企業振興条例」に基づいた取り組みの具体化や



土幌のバイオガスプラントの説明を聞く産業建設常任委員

現地視察調査

七月に鹿追、土幌のバイオガスプラント、阿寒のエゾシカ食肉加工センターの視察を行いました。

また十一月には、野付半島海岸の浸食状況、町道の整備状況について現地調査を行いました。

商工振興について、それぞれのアイデア・構想などを交流しました。

志を 受け継ぐ

「継続は力なり」を礎に30年

別海スケート少年団白鳥 ^{ふくはら}福原 ^{よしひと}義人



寒い中でも元気いっぱいがんばる別海スケート少年団白鳥のみなさん

当少年団は、昭和五十六年に楠瀬功氏をはじめとする多くの大先輩が設立。三十年という節目を迎えました。設立当初から少年団に引き継がれる団訓「継続は力なり」という誓いがあります。昨今、本町はもとより各地で冬季スポーツの愛好者が減少傾向にあり、課題となっています。当少年団では、そのような厳しい中、団員・保護者・指導者が一体となり、「自らの子を、スケートを通じて、自らの手で育成する。多くの子を社会へ翔ばたかせる」というスローガンの下に、日々頑張っています。時には、つらくてなったり、くじけそうになるときもありますが、互いに励まし合うことで、異業種や地域が違う保護者同士、子ども同士が、スケートを介し親しくなっていくことが、地域力の向上に繋がっていくものと感じています。永く大先輩たちが、その志を継承し、多くの後輩たちが、志を心に育ち、翔ばたき、故郷に戻って来る…そして、永遠(とわ)に志を引き継ぐ。それが、本町の「継続は力なり」と思いながら、我ら別海白鳥は、日々、精進していますので、今後とも地域の皆さんよろしくお願い申し上げます。

編集後記



寒い日々が続く、牛舎でウオーターカップを溶かすのが日課となっています。議会報告会は大勢の町民の皆さんに参加していただきました。アンケートには毎年継続を望む声や、議会活動に対する叱咤激励の声が多く寄せられていました。今後の議会の活性化につなげていきたいと思えます。(西原委員)

平成二十四年度も二か月を残すところとなり改めて月日の巡りの早さを感じています。先日成人式で「別海町のために頑張ります」と若者の力強い誓いがあり、身の引き締まる思いです。改めてビシッと襟を正し、多くの課題解決に向け取り組みます。(今西委員)

早いもので、議会広報の編集に携わって二年間の任期が終了間近となりました。議会終了後から町民の皆様を読みやすく理解していただける紙面になるよう、委員長以下六名で知恵を出し合って製作してきました。町中で「議会だより、見たよ」と言われた時は、頑張ろうと張り切ってきたが、今思えば、思いが伝わったのだろうか…。機会があれば、今より上を目指して行こうと思えます。(森本委員)

つながり愛・ささえ愛・思い愛 震災からの復興をみんなの力で!!